

令和4（2022）年度事業報告

I 理事会・常任委員会等

- 6月28日（火）第1回常任委員会開催（メール会議）
- 7月7日（木）第1回理事会開催（オンライン）
- 10月28日（金）第2回常任委員会開催（メール会議）
- 11月22日（火）学長懇談会開催
栃木県知事との懇談会開催
- 3月22日（水）第3回常任委員会開催（メール会議）
- 3月29日（水）第2回理事会開催（オンライン）

II 各種事業

1. 主催・共催等事業

	実施日	事業名	団体名
主催	9月23～25日 10月1日・10月8日・9日	国際キャリア教育(オンライン) International Career Seminar (オンライン)	宇都宮大学
共催	9月6日	第22回最先端先導的経営特別講演会 第7回FD・SD研修会	作新学院大学
共催	2月15日	シティライフ学シンポジウム スポーツ・文化の振興によるまちづくり	宇都宮共和大学

2. その他の事業

- 令和4年度「知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム大学生版」(佐野日本大学短期大学)
- 外国人留学生への栃木県内文化施設無料入館制度の実施
- とちぎグローバル人材育成プログラム共通科目の開講
(コンソーシアム必修3科目、各大学開講共通科目27科目)
- とちぎグローバル人材育成プログラム海外留学等支援事業は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し各大学等の協定締結校等との留学等に限り実施
(上級コース申請者0名、基礎コース申請者17名、採択者14名)
- 派遣留学生による海外留学等成果報告会を2月1日オンラインで実施

III 専門委員会の活動

1. 大学間連携事業委員会

- 学生活動支援事業 応募件数：10件（4大学） 採択件数：5件（3大学）
- 連携講座の実施 11機関59科目
- 大学を超えた共同研究支援事業の実施（1件支援）

応募件数：1件 採択件数：1件 支給総額：180,000円

研究代表者 (所属)	研究題目	支給額
紺野 奇重 (国際医療福祉大学)	新規アッセイ法を用いた 抗アデノウイルス剤の創製	180,000円

2. 地域連携事業委員会

- 「とちぎ学」(「地域学」)の推進
 - ・作新学院大学において授業「とちぎ学 a」(連携講座)を開講
 - ・作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部・宇都宮共和大学で映画『島守の塔』の学生アンバサダーとして協力
 - ・作新学院大学の「マスコミ論」の授業で地元紙である下野新聞社と連携して地域学的視点から地域の報道、新聞の役割を促進
- 人材育成
 - ・作新学院大学において2回、最先端先導的経営特別講演会を開催
- 学生&企業発表会(産学官連携サテライトオフィス事業委員会と共催)
 - ・第19回「学生&企業研究発表会」開催
分野別発表会を動画配信 11月12日(土)～21日(月)
最優秀選考会を対面発表で実施 12月3日(土) 宇都宮大学
発表件数 9大学から 52件
- とちぎキャンパスネットの発行(産学官連携サテライトオフィス事業委員会と連携)
 - ①年1回発行
 - ②県内大学(新入生等)、高校、企業、自治体等に配布

3. 産学官連携サテライトオフィス事業委員会

- 産学官金連携コーディネート実績
 - 相談件数 87件(新規12件) 来客数 202件
 - 共同研究 4件
- 主催・共催イベント
 - ① 第19回「学生&企業研究発表会」開催(地域連携事業委員会と協働)
 - ・分野別発表(動画配信) 11月12日(土)～21日(月)
発表は3分野5グループに分かれ、口頭発表52テーマの参加
 - ・最優秀賞選考会(対面発表) 12月3日(土) 宇都宮大学
 - ② ・とちぎ産業創造プラザのつどい 中止
 - ・栃木県産業技術センターオープンラボに参加
- とちぎキャンパスネットの発行(地域連携事業委員会と協働)
 - 編集会議2回、3月に第42号発行予定
- 産学官連携サテライトオフィスの広報(役割と実績、活用方法について)

- ・企業訪問時に随時実施
- ・栃木県産業技術センターオープンラボにブース参加し活動紹介を実施
- 他の産学官連携コーディネータとの交流
 - とちぎ産業振興ネットワーク推進会議 1回
- その他（幹事校会議 1回、事業委員会 1回、学生&企業発表会実行委員会 4回、プラザのつどい実行委員会 1回、栃木県北東部産業交流会中止、地域連携事業委員会参加)

4. 高大短連携・ESD事業委員会

- 高校生向けパンフレット（令和4（2022）年度版）の作成
- 進学説明会に資料参加
- 県内外高校にパンフレット送付